

○本時に育成したい資質・能力

・資料の中に0がある場合の平均の求め方を理解している。

(知識及び技能)

・資料の中に0がある平均を求める場合の0の処理の仕方を考え、説明することができる。

(思考力、判断力、表現力等)

○二つの側面、三つのプロセスとの関係

二つの側面

A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力

B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力

三つのプロセス

①…発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す

②…分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する

③…再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する

○0を含む得点表と0を含まない得点表を比べ、共通点や相違点を見つけ出している。A①

○0があるときの平均の求め方を、既習内容や友達の式や図等を比べたり友達との話し合いを通して考えたりしている。B②

○全体で話し合った後、0がある場合の平均の求め方を理解し、他のグループの得点表の平均を求め、優勝チームを求める計算をしている。A③・B③

○本時のめあて

・0があるときの平均は、どのようにして求めたらいいのだろうか。

○本時の展開 (めあて、学習課題、学習活動、児童生徒の反応予測・思考の流れ、板書計画等)

① 課題を再確認する (5分)

・「ざんねんペットボトルキャップつかみ」の結果の表から、2つのチームの得点表を見て気づきを発表する。

[先生チーム]

人	A	B	C	D	E	F
得点	8	9	7	10	11	12

[Dチーム]

人	A	B	C	D	E
得点	16	0	7	12	13

今までと違うのは、得点に0があるよ。「平均」の求め方は、今まででいいのかな？

平均=合計÷個数で求めることができたな。じゃあ、優勝チームは…

・「得点に0があるときに平均を求めるにはどうしたらいいの？」という子どもの疑問から本時の課題を設定する。

0は足しても答えは変わらないから入れなくてもいいのかな？

0は入れて考える！

0は入れない！

②めあてをもつ (3分)

0があるときの平均は、どのようにして求めたらいいのだろうか

記録の中に、0があるときの平均は、どうやって求めるとよいか。

③自力解決【個人で】(7分)

・得点に0があるときの求め方の式を考え、説明を考える。

$(16+0+7+12+13) \div 5$ の式になると思う。

$(16+7+12+13) \div 4$ の式にじゃないかな。

Aさんはこの式ね

Bさんはこの考えだね

⑤互いの考えを比較・検討し、整理・分析する。【全体で検討】(10分)

○グラフを使って考えると…得点に0の人にも多いところから移す必要があるよ。  
○5人の平均を求めるから…足すときの0は省いてもいいけど、わる人数は5人じゃないといけないよ。  
○DチームのBさんの記録をぬいたら4人の平均になってしまうからやっぱり、0の記録もいれなくちゃいけない！

④考えを発表し合う。【全体で発表】(10分)

・児童の考えを取り上げ、求め方を話し合う。

【考え①】0を入れて計算する！式にすると…  
 $(16+0+7+12+13) \div 5$

【考え②】0をぬいて計算する！式にすると…  
 $(16+7+12+13) \div 4$

【考え③】0をぬいて計算する！式にすると…  
 $(16+7+12+13) \div 5$

グラフにすると、こうなるから÷5じゃない？

0は足しても合計は変わらないから省略できるんじゃない？

Bさんの記録を抜いたら4人の平均になっているから間違いだと思うよ。

⑥学習をまとめる。(3分)

0があるときの平均を求めるときは、0点を含めた点数の合計と人数の記録も入れて計算する。

⑦適用問題をやる。(4分)

・0点を含む別のチームの平均を求める。

⑧振り返りをする。(3分)

学んだ方法で計算してみると…優勝チームは、ここだ！！

0点の人の分も含んだ人数で割らないといけないことが分かった